

令和2年第1回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和2年2月28日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	令和2年2月28日 午前10時00分			議 長 田 中 政 司	
	散会	令和2年2月28日 午前10時41分			議 長 田 中 政 司	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	山 口 卓 也	出	9番	森 田 明 彦	出
	2番	諸 上 栄 大	出	10番	辻 浩 一	出
	3番	諸 井 義 人	出	11番	山 口 忠 孝	出
	4番	山 口 虎 太 郎	出	12番	山 下 芳 郎	出
	5番	宮 崎 一 徳	出	13番	山 口 政 人	出
	6番	宮 崎 良 平	出	14番	芦 塚 典 子	出
	7番	川 内 聖 二	出	15番	梶 原 睦 也	出
	8番	増 田 朝 子	出	16番	田 中 政 司	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	村上 大 祐	新幹線・まちづくり課長	
	副市長	池田 英 信	市民課長	馬 郡 裕 美
	教育長	杉崎 士 郎	健康づくり課長	津 山 光 朗
	行政経営部長	辻 明 弘	子育て未来課長	
	総合戦略推進部長	池田 幸 一	文化・スポーツ振興課長	
	市民福祉部長	陣内 清	福祉課長	大久保 敏 郎
	産業振興部長	早瀬 宏 範	農業政策課長兼 農業委員会事務局長	福 田 正 文
	建設部長	副島 昌 彦	観光商工課長	
	教育部長	大島 洋二郎	建設・農林整備課長	馬 場 孝 宏
	会計管理者兼 会計課長	諸井 和 広	環境下水道課長	太 田 長 寿
	総務・防災課長兼 選挙管理委員会事務局長	永江 松 吾	水道課長	山 本 伸 也
	財政課長	山口 貴 行	教育総務課長	
	税務課長		学校教育課長	
	企画政策課長	三根 竹 久	監査委員事務局長	
広報・広聴課長		代表監査委員		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	横田 泰 次		

令和2年第1回嬉野市議会定例会議事日程

令和2年2月28日（金）

本会議第1日目

午前10時 開 議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 報告第1号 専決処分（第1号）の報告について
- 報告第2号 議決事件に該当しない契約の報告について
- 日程第4 議案第1号 行政嘱託員制度の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 日程第5 議案第2号 水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について
- 日程第6 議案第3号 嬉野市公共施設等管理計画策定委員会条例について
- 日程第7 議案第4号 嬉野市ふれあい広場条例について
- 日程第8 議案第5号 嬉野市大草野防災広場条例について
- 日程第9 議案第6号 嬉野市嬉野温泉駅周辺整備事業者選定委員会条例について
- 日程第10 議案第7号 嬉野市人権尊重に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議案第8号 嬉野市行政不服審査関係手数料条例及び嬉野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議案第9号 嬉野市印鑑条例の一部を改正する条例について
- 日程第13 議案第10号 嬉野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 議案第11号 嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について
- 日程第15 議案第12号 嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 日程第16 議案第13号 嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例について
- 日程第17 議案第14号 嬉野市文化財保護審議会条例の一部を改正する条例について
- 日程第18 議案第15号 嬉野市うれしの茶交流館条例の一部を改正する条例について
- 日程第19 議案第16号 第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 日程第20 議案第17号 令和元年度嬉野市一般会計補正予算（第6号）
- 日程第21 議案第18号 令和元年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第22 議案第19号 令和元年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 日程第23 議案第20号 令和元年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）
- 日程第24 議案第21号 令和元年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第3号）

- 日程第25 議案第22号 令和元年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）
- 日程第26 議案第23号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第27 議案第24号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第28 議案第25号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）
- 日程第29 議案第26号 令和2年度嬉野市一般会計予算
- 日程第30 議案第27号 令和2年度嬉野市国民健康保険特別会計予算
- 日程第31 議案第28号 令和2年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第32 議案第29号 令和2年度嬉野市農業集落排水特別会計予算
- 日程第33 議案第30号 令和2年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計予算
- 日程第34 議案第31号 令和2年度嬉野市浄化槽特別会計予算
- 日程第35 議案第32号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第36 議案第33号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計予算
- 日程第37 議案第34号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計予算

午前10時 開会

○議長（田中政司君）

皆さんおはようございます。本日は、令和2年3月定例会市議会に御出席をいただきまして、誠に御苦労さまでございます。

本定例会市議会は、新年度予算の審議、また条例制定の審議など極めて重要な議会でございます。議員の皆様方におかれましても、地域住民の福祉の向上、これを目指し、予算や条例等について十分に精査をしていただき、議会としてのチェック機能を果たすべく、活発な質疑あるいは審議をお願いするところでございます。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年第1回嬉野市議会定例会を開会いたします。

今議会の議会運営につきましては、2月26日に議会運営委員会を開催していただきましたので、その結果について報告を求めます。辻浩一議会運営委員長。

○議会運営委員長（辻 浩一君）

皆様、改めましておはようございます。去る2月26日に議会運営委員会を開催いたしましたし、今定例会の議会運営に関し協議を行いました。

ただいまより会期日程（案）について御報告申し上げます。

お手元に配付の令和2年第1回嬉野市議会定例会会期日程案を御覧ください。

会期は、本日2月28日から3月19日までの21日間であります。

2月28日、本日、開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由の説明、本会議終了後、執行部より議案の詳細説明を受ける合同常任委員会となっております。

2月29日、3月1日は休会であります。

3月2日、3日、4日、5日、常任委員会であります。

3月6日、一般質問5名、開議時刻は9時30分となっております。

3月7日、8日、休会。

3月9日、一般質問、5名。

3月10日、一般質問、4名となっております。

なお、一般質問につきましては、今定例会には14名の議員から通告がっておりますので、6日に5名、9日に5名、10日に4名の配分で行いたいと考えております。

3月11日、休会。

議案質疑につきましては、3月12日、13日、16日と17日の午後の4日間を予定しております。

3月12日、3月13日、議案質疑。

3月14日、3月15日、休会。

3月16日、3月17日、議案質疑。

3月18日、休会。

3月19日、討論・採決、閉会としたいと思います。

なお、開議時間は全て午前10時といたしますが、一般質問につきましては開議時間を午前9時30分といたします。また、17日の議案質疑は午後1時からといたします。

以上、今定例会の会期日程案について御報告いたします。

○議長（田中政司君）

議会運営につきましては、ただいま委員長から報告のあったとおりであります。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に10番辻浩一議員、11番山口忠孝議員、12番山下芳郎議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から3月19日までの21日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は本日から3月19日までの21日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3．諸般の報告を行います。

初めに、去る令和2年1月29日、全国市議会議長会基地協議会第83回総会、2月12日、全国高速自動車道市議会協議会第46回定期総会、2月13日、全国広域連携市議会協議会第51回総会が開催され、私が出席をいたしました。それぞれの会議で関係省庁の課長等が講演をし、平成30年度歳入歳出決算や令和2年度の活動方針案、歳入歳出予算案などが提案され、可決をされました。

なお、総会の資料につきましては、議会事務局で管理をしておりますので御覧ください。

また、去る2月5日に各委員会、特別委員会が開催され、委員長及び副委員長の選考が行われ、決定した報告がありましたので発表をいたします。

まず、総務企画常任委員会の委員長に宮崎良平議員、副委員長に芦塚典子議員、文教福祉常任委員会の委員長に森田明彦議員、副委員長に山口忠孝議員、産業建設常任委員会の委員長に川内聖二議員、副委員長に諸井義人議員、議会運営委員会の委員長に辻浩一議員、副委員長に梶原睦也議員、議会広報編集特別委員会の委員長に森田明彦議員、副委員長に諸井義人議員、議会活性化特別委員会の委員長に宮崎良平議員、副委員長に梶原睦也議員に決定をいたしました。

次に、報告第1号 専決処分（第1号）の報告について及び報告第2号 議決事件に該当しない契約の報告についてにつきましては、お手元に配付をしておりますので、それをもって報告といたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第1号 行政嘱託員制度の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例についてから日程第37．議案第34号 令和2年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計予算までを一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（村上大祐君）

皆さんおはようございます。本日の令和2年第1回定例会の開会に当たり、議案の提案理由を御説明いたします前に、日々刻一刻と情勢が変化をしております、世界的に感染が拡大をして、また世界保健機関（WHO）も危機感を示している新型コロナウイルス感染症対策について、情勢を報告申し上げるところでございます。

連日の報道で市民の皆様も心配をされておるといことではありますが、現在のところ、佐賀県での感染は確認をされておられませんし、検査もいずれも陰性ということになっております。近県では感染が確認され、国内どこで感染が確認をされてもおかしくないという状況でありますので、我々も気を引き締めて対応を検討しておりますところでございます。

佐賀県が1月27日に感染症情報連絡室を設置されたことに伴いまして、本市でも翌1月28日に情報共有のための庁舎内対策会議を行ったところでございます。

また、福岡県での感染確認という事態もございまして、2月20日には2回目の会議を行っております。今現在は、佐賀県とも連絡を取り合いながら情報収集に努め、庁舎内での共有を行っておりますところでございます。市民の皆様へはホームページ、またチラシの配布等で感染症予防を呼びかけておるところでございます。

今後も最新の情報収集に努め、ウイルス感染の動向を注視しながら対策会議を行い、関係機関との連携により迅速な対応を行っていく所存でございます。

時に、昨日27日夕方の安倍首相が表明をした全国の小中高等学校への臨時休校の要請についても、昨夜から、そして本日にかけて急遽対応を検討いたしましたので御報告申し上げます。学校としての対応方針の決定であったり、また、子どもや保護者との連絡、周知に時間を要することから、休校は要請された2日ではなく3日からといたします。2日は通常どおりの登校で、春休みの生活や学習上での指導、また、検温などの体調管理についての注意、また、商業施設や遊園地など人が密集する場所に行くことなど、不要不急の外出を控えるなどの連絡を行います。給食も提供をするということになっております。

また、学童保育については、学校は休校するものの教職員は出勤をするため、教室を開放することで密集を避けつつ、指導員とも連携をして子どもたちの見守りを行うという方針を本日開催の臨時校長会で伝達をしたところでございます。ただ、休校は密集を避けるという観点で行われるため、なるべく御家庭での対応も併せてお願いをするところでございます。

卒業式については中止の上、校長と担任が各家庭を訪問して卒業証書を手渡す方向で調整をしております。

また、県立高校入試や未消化の授業単元の取扱などについては、県教育委員会の決定、そしてまた議論の行方を注視しておりますところでございます。

今後の課題として浮上いたしますのが、学童保育の指導員の確保など中長期に取り組むものも含まれております。

議会の皆様におかれましては、御理解、御協力、必要に応じてはまたこちらからの議案のお願い等もありますので、お願いを申し上げるところでございます。

それでは、議案の説明を行うに当たり、次年度の市政運営の基本方針を申し述べさせていただいた上で、本議会に上程をいたしました議案の提案理由の説明をさせていただきます。本年度は大きく5本の柱を掲げさせていただいております。

まず、「命を守る！災害に強いまちづくり」であります。令和元年8月豪雨では、近隣の市町を中心に、佐賀県内の広範な地域で甚大な被害をもたらしたことは記憶に新しいところでございます。全国の他の地域においても、風水害による家屋の損失、流出、電力をはじめとするインフラ崩壊を目の当たりにし、先進国の中でも災害リスクが突出して高い現実を受け止める必要性を改めて痛感をしたところであります。

塩田川の河川水位や雨雲の動きなど、テレビモニターなどで刻一刻と変化する情勢を把握して現場や関係協力団体と情報共有し、迅速に対応策を打ち出すための拠点を市役所塩田庁舎内に設けると同時に、テレビ会議システムの構築で嬉野庁舎との連絡体制を強化する予算をお願いしております。なお、現在、災害対策の経験豊富な外部人材登用を検討しており、市役所組織内の人材育成も確実に進めてまいりたいというふうに考えております。

ハード面では、命を守る道路について、社会資本整備総合交付金事業での採択を求める要望活動などを積極的に行い、国の補正予算において災害に強い道路ネットワーク構築を目指す市道改良についても総額2億3,000万円が配分をされました。それに伴い、本年度一般会計3月補正予算で所要の補正を行っております。特に国土強靱化3か年計画が終了する令和3年度以降の国の予算を呼び込む、ある意味では前提となる地域計画の策定も同時に行っており、今年度中に公表できるように準備を進めております。ソフト・ハードの両面であらゆる手段で市民の命を守る市政運営をここにお誓いを申し上げるところでございます。

2点目は、「ICT（情報通信技術）で切り拓く「スマート自治体」への道」です。当然、業務改革は不断に行うべきことではありますが、近年は行政ニーズも多様化する中で業務量は増加をしており、さらに災害対応が頻繁かつ激甚化傾向にあるため、喫緊の課題として浮上したという認識であります。昨年10月よりプロジェクトチームを立ち上げ、RPA（業務プロセスの自動化）と市民の皆様からの手書きの申請書類などを自動的に読み取ることで入力作業の時間短縮と精度向上が期待されるAI-OCRに向けて検討及び実証実験を行ってまいりました。既に検討段階で業務プロセスの重複部分や見直すべき箇所を発見する効果が現れており、これを好機と捉え、本格導入にかじを切る決断をしたところでございます。導入に当たっての外部人材登用やシステム費用について予算計上を行っております。人件費削減などの文脈で論じるのではなく、職員がより付加価値の高い仕事を生み出し、市民の皆様喜んでいただける政策推進に向けた前向きな取組として位置づけてまいります。

安全・安心と生産性向上の両輪を安定させた上で取り組むべきは、3点目となる「まちを

未来へと力強く推進するエンジンとなる成長戦略」であります。農業分野においては、新規就農者を呼び込む目玉として最新鋭の技術を導入した施設園芸のハウス団地構想について設計費用を計上しております。現在、施設園芸についてはキュウリ、トマト、イチゴの研修施設が近隣市町にあり、地域の内外から新たな挑戦をする方を全力で応援していくもので、今後は移住・定住、空き家対策、販路開拓やブランド事業など分野横断的に取り組んでいく所存であります。本年1月に北九州青果株式会社と連携協定を結んで取組を始めた新たな特産となる西洋野菜の本格栽培やブランド化事業、女性農業者の活躍推進や耕作放棄茶園の活用事業、ドローンなどを使ったスマート農業の実用化も予算計上しております。また、昨年の全国茶品評会釜炒り茶の部で最高賞の農林水産大臣賞・産地賞を受賞したことで、「うれしの茶」への熱視線が改めて注がれていることも踏まえ、同部門での連続受賞と惜しくも次点となった蒸し製玉緑茶の部も制して2冠達成を目標に産地を挙げて努力してまいりる所存でございます。

また、令和4年度の九州新幹線西九州ルート暫定開業に向けてもカウントダウンが始まりました。駅舎工事は順調に進んでおり、駅周辺のまちづくりも官民連携で今後進んでいくこととなります。観光をはじめとする交流人口を呼び込む上で、嬉野市単独ではなく白石町、鹿島市、太良町の有明海沿岸地域、昨年新たに連携協定を結んだ武雄市、有田町、そして、県境を越えて佐世保市や東彼杵町、川棚町、波佐見町と広域連携でお互いの地域資源を組み合わせる魅力的な地域としての情報発信をしてまいることが重要であると認識しております。新幹線開業に向けまして、地域の連帯を基礎として新たな価値創造に向けた議論を進めていくために努力を重ねてまいりたいと考えております。

4点目は「2020東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツのまちづくり」であります。かねてよりスポーツは市民の一体感の醸成、青少年の健全育成や市民の健康づくり、観光などの経済効果など幅広い領域で価値を生み出す効果があると確信をしております。5月10日に「うれしの茶交流館チャオシル」を出発する聖火リレーの盛り上げ、女子7人制ラグビーで嬉野市発のオリンピック選手との期待がかかる「堤ほのか選手」の応援を通じて、市民の皆様とある種の熱狂を分かち合うことで、まちづくりの機運を高めてまいりたいと考えています。また、佐賀県とともにオランダのホストタウンを務めており、男子空手の事前合宿のほか、8月中旬に予定をされておりますオランダ王立ウオーキング協会主催の「ウォーク チャレンジ ジャパン2020」の開催地としてもおもてなしの準備を進めております。観光や農産物、何より嬉野の人々のおもてなしの心。嬉野の魅力を世界に発信する好機と捉えて積極的な政策推進を行ってまいります。

最後に、嬉野市が発足して以来掲げてきた「ひとにやさしいまちづくり」を具現化するべく、「ひとにやさしい健幸づくり政策パッケージ」であります。がん患者が抗がん剤投与で毛髪が抜けると、外出をためらいがちになるという患者団体の切実な要望も受け止め、医療

用ウィッグ（付け毛）の購入への補助を行うほか、乳がん患者の人工乳房も補助対象といたします。また、骨髄移植ドナー提供に係る費用助成も新たに設けます。さらに、不妊治療に係る費用助成も引上げ、我が子を抱き上げたいという思いに寄り添いたいと思っております。加えて、福祉の最前線で高い志を持って活動する民生児童委員の支援制度も新設をいたします。市民一人一人がお互いに優しいまなざしを向け合うまちづくりを今後とも進めてまいり所存であります。

令和2年度の一般会計予算は過去最高額となる175億円という積極的な予算となっております。本年度総額で31億5,000万円を見込まれるふるさと納税の急増が大きな要因であります。今後は、財政規律を遵守する一方で、寄附を頂いた皆さんの思いに応える形で積極的な未来への投資、また人づくりへの投資を行っていきたくと考えております。

最後に、このたび、新たに嬉野市のブランドメッセージが「うれしいを、いっしょに。」と決定いたしました。平成の大合併を経て、自治体の名称に嬉野市の「嬉」という文字を持つのは、我々嬉野市が唯一であります。市民の皆さんが心の底から「うれしい」と感じ、そしてまた「うれしいこと」を分かち合い、嬉野市を訪れていただいた方も含めて、みんなが「うれしい」と感じてもらえるような仕掛けを実現していく。そういった願いを込めたいと思っております。今後、様々な場面で新ブランドメッセージである「うれしいを、いっしょに。」を積極的に打ち出してまいります。

さて、今定例会に提出します案件は、報告2件、条例の制定6件、条例の一部改正9件、計画の策定1件、令和元年度補正予算9件、令和2年度当初予算9件の全部で36件について、御審議をお願いするものでございます。

まず、条例の制定につきましては、行政嘱託員制度の廃止に伴い関係条例の整理を行うもの、嬉野市水道事業が佐賀西部広域水道企業団に合併することにより水道事業が廃止になるため関係条例の整理を行うもの、公共施設等管理計画策定委員会の設置に関するもの、ふれあい広場の設置及び管理に関するもの、大草野防災広場の設置及び管理に関するもの、新幹線嬉野温泉駅周辺整備事業者選定委員会の設置に関するものでございます。

条例の一部改正につきましては、部落差別の解消の推進に関する法律の施行に伴い改正するもの、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い改正するもの、成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い改正するもの、佐賀県人事委員会の勧告に伴い職員の夏季休暇の拡充を行うもの、公募または図面の写しの交付について改正するもの、国民健康保険税の税率を改定するもの、嬉野市体育館を廃止するもの、文化財保護審議会に部会を設置するもの、うれしの茶交流館の使用料を改定するものでございます。

計画の策定につきましては、嬉野市議会基本条例の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

続きまして、議案第17号から議案第25号までの9議案は、令和元年度の各会計の補正予算に関するもの、また、議案第26号から議案第34号までの9議案は、令和2年度嬉野市一般会計をはじめとした各特別会計の当初予算に関するものでございます。

まず、令和元年度の各会計の補正予算から御説明を申し上げます。

議案第17号 令和元年度嬉野市一般会計補正予算（第6号）について御説明いたします。

歳入歳出それぞれ12億2,378万6,000円を増額し、補正後の予算総額を175億2,203万1,000円とするものでございます。

今回の補正は、ふるさと応援寄附金の伸びによる最終見込み額11億5,000万円の増、定住促進奨励金の申請者増加による2,430万円の増、国の補正予算に伴う事業としては、市道調査・改良事業として3億497万6,000円の増、橋梁補修整備費用として1億4,700万円の増、また、吉田中学校の校舎屋根ひさし改修費として2,510万2,000円等が主なものとなっております。

また、歳入歳出ともに、各種の事務事業で確定した額への補正や年度末に不用額等が見込まれる減額補正等を計上しております。

これらにより、財政調整積立金からの繰入れを2億4,701万5,000円減額いたしております。

また、今年度中に終えることのできない事業を翌年度に繰り越すため、繰越明許費補正を計上いたしております。

議案第18号 令和元年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）については、医療費の伸びを見込んだ上で今年度の歳入歳出の最終見込みにより補正を行っております。

議案第19号 令和元年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）については、今年度の歳入歳出の決算見込みにより補正を行っております。

議案第20号 令和元年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第3号）及び議案第21号 令和元年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第3号）並びに議案第22号 令和元年度嬉野市浄化槽特別会計補正予算（第2号）については、事業費に合わせ財源を調整しております。

議案第23号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）及び議案第24号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）については、保留地処分金を計上し、一般会計へ繰出しを行っております。

議案第25号 令和元年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第3号）については、土地貸付料収入により補正予算を計上しております。

次に、各会計の当初予算を御説明申し上げます。

議案第26号 令和2年度嬉野市一般会計予算について御説明をいたします。

予算の総額は175億600万円となり、前年度当初より29億円の増、率にして19.9%の増と

なっております。増額となった理由といたしましては、ふるさと応援寄附金を前年度より20億円増と見込んでいるとともに、前年度寄附金を積み立てた基金からの繰入金を約14億1,800万円、また、開業に向けて整備を進めている新幹線嬉野温泉駅周辺整備に関連して、土地開発公社から土地の買戻しを行う予算として4億3,800万円等が主なものとして上げられております。

それでは、歳入から御説明いたします。

まず、市税のうち固定資産税が若干の増収が見込まれるため、全体としては前年度当初比0.2%の増収を見込んでおります。地方交付税は、地方財政計画に盛り込まれている伸び率を考慮し、前年度より1億5,000万円を増額しております。

ふるさと応援寄附金については、当該年度の寄附金を30億円、前年度寄附金を積み立てた基金からの繰入金14億1,741万9,000円を計上しており、大幅な増額となっております。

次に、歳出予算について説明いたします。主な事業を申し上げます。

総務・防災課では、平成26年度から進めている防犯灯のLED化を引き続き進め、犯罪の抑止効果と交通事故の防止に努めてまいります。

企画政策課では、市内の空き家等を活用したお試し移住施設やお試しサテライトオフィスの設置、運営に係る事業、従来の定住促進奨励金を見直し、「移住促進事業」として人口増加を目的とした各種応援金を交付する事業、また、空き家対策の一環として、空き家バンク利用促進を図るために内容を拡充して各種補助金を交付する事業等を行います。また、ふるさと応援寄附金については、受付業務・返礼品の費用などの経費と、基金への積立金を計上しております。なお、積み立てた基金は、翌年度寄附の目的に応じた事業の財源として活用させていただきます。

広報・広聴課では、RPA、AI-OCR導入に向け、コンサルティング業務及びサポート業務を委託するとともに、導入環境の整備を行います。また、シティプロモーションの取組として、現在の市ホームページ内の行政情報とは別に、市内の魅力を集約したページを作成し、市内外へ向けた情報発信の強化を図ってまいります。

新幹線・まちづくり課では、令和元年度に点検を行った結果、老朽化により使用禁止・撤去を行った都市公園の遊具について、今回、再度整備を行う予算として5,000万円を計上しております。

文化・スポーツ振興課では、「オリンピック・聖火リレー関連事業」として、5月10日に本市で開催されるオリンピック聖火リレーの際のイベント開催や、記念品・グッズ等を製作し、オリンピックへの機運醸成を図ります。また、「オリンピック・パラリンピック関連事業」として、オリンピックを通してスポーツのすばらしさを感じてもらうため、本市出身選手の出場予定競技のパブリックビューイングを開催するとともに、本市でオランダのホストタウン関連事業として開催予定の「ウォーク チャレンジ ジャパン2020」においても、歓迎

イベントなどを予定しております。

福祉課では、障がい者の社会参加、自立更生の促進を目的として、自動車運転免許を取得するための費用を助成する事業を行います。

また、子育て未来課では、「子ども家庭総合支援拠点事業」として、児童虐待を含む養護相談や養育相談等の多岐にわたる相談に応じるため、子育て未来課内に拠点を設置するものでございます。

健康づくり課では、「ひとにやさしい健幸づくり事業」という名称で、がん患者や骨髄移植ドナーの方の経済的負担の軽減を目的として、医療用ウィッグ、胸部補正具の購入費用や、骨髄移植ドナーの方に対して助成を行います。

農業政策課では、施設園芸農業の新規就農者が速やかに安定した営農形態を確立できるように、費用負担の軽減を目的として、市においてハウス団地として圃場の選定、整備を行います。また、市内で活動されている女性農業者のグループに対して、商品づくりや販売の実践研修、交流活動に対して補助を行います。茶業振興としては「茶園耕作放棄地解消事業」として耕作放棄された茶園を再び営農できる茶園に回復するための費用の一部を助成いたします。

観光商工課では、自治体国際化協会（クレア）の国際交流事業により、国際交流員として外国人青年を迎え、各種交流事業や観光PR等を通じて国際交流の推進を図ります。

建設・農林整備課では、森林環境譲与税を積み立てた基金を財源として、私有林の間伐や林業の人材育成、担い手の確保、木材利用の促進などに取り組み、森林環境の整備保全を行います。

教育総務課では、小・中学校での事件や事故を未然に防止するため、市内の全小・中学校に防犯カメラを設置いたします。また、国の天然記念物でもある大チャノキの樹勢を回復するため、国、県の補助事業を利用して保存活用を図ってまいります。

以上、申しあげました事業のほかにも各種事務事業に取り組み、市民生活の向上を図るべく努力をしてまいります。

続きまして、議案第27号から議案第34号の各特別会計予算について御説明申し上げます。

まず、国民健康保険特別会計については、歳入歳出予算の総額は35億8,012万4,000円で、前年度当初会計から0.2%の増となっております。県統一化3年目となり、引き続き安定した運営に努力していきます。

次に、後期高齢者医療特別会計については、歳入歳出予算の総額は3億8,607万4,000円で、前年度当初比から6.2%の増となっております。被保険者数の増により広域連合への納付金額増によるものでございます。

次に、農業集落排水特別会計については、歳入歳出総額は3億8,887万9,000円で、前年度当初予算から0.5%の減となっております。処理場の統合に係る調査費用の減によるもので

す。

次に、公共下水道事業費特別会計については、歳入歳出総額は4億6,961万6,000円で、前年度当初予算から0.9%の増となっております。引き続き、下岩屋地区及び新幹線駅前の管渠敷設工事などを行ってまいります。

次に、浄化槽特別会計については、歳入歳出総額は1億9,516万4,000円で、前年度当初予算から9.1%の増となっております。設置基数の増加によるものでございます。

次に、嬉野第七土地区画整理事業費特別会計は、前年度当初予算から52.8%の減、「嬉野第八土地区画整理事業費特別会計」は、前年度当初予算から53.0%の減であります。いずれも清算段階となっており、公債費の償還金減が主なものとなっております。

次に、嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計については、歳入歳出総額1億8,971万9,000円で、前年度当初予算から17.0%の増となっております。駅前広場の整備等を行うため増加となっております。

なお、水道事業会計につきましては、令和2年4月1日から佐賀西部水道企業団に統合されるため、令和2年度から本市の予算として廃止されることとなります。

また、今会期中に条例制定の追加提案を予定しておりますので、あらかじめ御了承いただきますようお願いを申し上げます。

最後になりますが、今議会では14名の議員の皆様より一般質問をお受けしておりますので、誠実にお答えをしたいと存じますので、よろしくようお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（田中政司君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りします。議案第1号から議案第34号までの34件につきましては、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第1号から議案第34号までの34件につきましては、委員会付託を省略することに決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時41分 散会